

歯科会員各位

2018年9月18日
和歌山県保険医協会 歯科委員会

保険医協会事務局 (FAX 073-436-4827) 行

「ライフステージ」に即した保存修復学の臨床最前線」 研究会 ご案内

「ライフステージ」に即した保存修復学の臨床最前線」研究会
参加申込書

前略

う蝕は広範囲な年齢層に広くみられる疾患ですが、人生100年時代ともいわれ、80歳はその通過点に過ぎないという考えも成り立つようになってきた今、その疾病構造が変化しています。

厚生労働省の平成28年歯科疾患実態調査によると、子どもや若い人でう蝕を有する人の割合は年々減少していますが、高齢者のう蝕は増加しています。これには、歯が以前より多く残るようになった高齢者の根面う蝕がかかわっています。

根面う蝕の多発者として挙げられるのは、口腔清掃の行き届かなくなった高齢者、要介護高齢者、服用薬の副作用や放射線治療による唾液腺障害で唾液の分泌が抑制されている者などです。また、認知症患者はそうでない者と比べ、歯冠部および根面う蝕が多いと報告されています。

今回、日本歯科保存学会が推奨するう蝕治療を、とくに根面う蝕に焦点を当てて、プラークコントロールから始まり、フッ化物を利用した非切削での対応、また、切削対応ではコンポジットレジンとガラスイオノマーをどう使い分けるかなどについて、具体的にご紹介いただきます。

草々

記

テーマ：「ライフステージ」に即した保存修復学の臨床最前線

～高齢社会を迎えた今、どこまでわかっていて何ができるか～

講師：桃井 保子 先生 (鶴見大学名誉教授 歯学部保存修復学講座)

とき：10月20日 (土) 午後3時～5時

ところ：プラザホープ 4F ホール

和歌山市北出島1-5-47 TEL : 073-425-3335

参加費：無料

※ 先生だけでなく、歯科衛生士の方の参加も歓迎いたします。

医療機関名

電話:

FAX:

参加者氏名